

(別紙)

返還ガラス固化体の輸送容器の主な測定結果について (全5基)

(英国 Sellafield 再処理工場における測定結果の最大値)

項 目		合 格 基 準	結 果				
			1 基目	2 基目	3 基目	4 基目	5 基目
			S3B130* <sup>1</sup> 20 体用	S4B130* <sup>1</sup> 20 体用	S11B130* <sup>1</sup> 28 体用	S7B130* <sup>1</sup> 28 体用	S8B130* <sup>1</sup> 28 体用
の放射 表面 密度 物質	α線を放出する 放射性物質	0.4Bq/cm <sup>2</sup> を 超えないこと	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.
	α線を放出しない 放射性物質	4.0Bq/cm <sup>2</sup> を 超えないこと	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.
線量 当量 率	輸送容器表面	2mSv/h を 超えないこと	0.2204 mSv/h	0.4210 mSv/h	0.5425 mSv/h	0.1750 mSv/h	0.4464 mSv/h
	輸送容器表面から 1m離れた位置	0.1mSv/h を 超えないこと	0.0185 mSv/h	0.0390 mSv/h	0.0568 mSv/h	0.0560 mSv/h	0.0597 mSv/h
温度測定 (補正された表面温度)* <sup>2</sup>		85°Cを 超えないこと	46.2°C	46.4°C	53.3°C	51.0°C	52.0°C
気密漏えい (容器本体と蓋部及び オリフィス部の密封部)		1.33×10 <sup>-3</sup> MPa・cm <sup>3</sup> /s を超えないこと	4.70×10 <sup>-5</sup> MPa・cm <sup>3</sup> /s	1.11×10 <sup>-4</sup> MPa・cm <sup>3</sup> /s	3.30×10 <sup>-4</sup> MPa・cm <sup>3</sup> /s	2.91×10 <sup>-4</sup> MPa・cm <sup>3</sup> /s	3.95×10 <sup>-4</sup> MPa・cm <sup>3</sup> /s
圧力測定		初期充填圧力が 設定値以下であ ること	44.547kPa (設定値以下)	44.719kPa (設定値以下)	19.499kPa (設定値以下)	19.641kPa (設定値以下)	19.788kPa (設定値以下)

注) \*1 : 承認容器登録番号

\*2 : 周囲温度 38°C 条件下における表面温度となるように次式で補正した温度

$$(\text{補正温度}) = (\text{測定温度}) - (\text{周囲温度}) + 38^\circ\text{C}$$

N. D. : 検出限界未満を示す。

$$\left[ \begin{array}{l} \alpha \text{線を放出する放射性物質の検出限界} : \underline{0.01\text{Bq/cm}^2} \\ \alpha \text{線を放出しない放射性物質の検出限界} : \underline{0.05\text{Bq/cm}^2} \end{array} \right]$$

Bq : ベクレル 放射性物質が放射線を出す能力 (放射性物質の量) を表す単位  
(1秒間に原子核が壊変する数)

Sv : シーベルト 人間が放射線から受ける影響の度合いを表す単位